



ガンズ・アンド・ローゼズ (以下 GN'R) の最新アルバム「ユーズ・ユア・イリュージョン I / II」には、怒りのこめられた曲が数多く収録されている。その理由は、GN'Rのメンバーを初め、怒りを感じている人達がアルバム制作にかかわったからだ。しかし、お馴染みの“ドント・クライ”などで、このアルバムにシンガー及びソングライターとしてかかわったシャノン・フーンは、それほど怒りを感じてはいない。なぜなら、この24歳のミュージシャンは今、とてもクリエイティブな状態にいて、怒りで幻想の世界を曇らせている暇などないのだ。

シャノン・フーンは本当に、ヴィジョンを持った男だ。GN'Rとともに歌い、ツアーすること(昨年、全米ツアーの前に行われた、シークレット・ギグのツアーに同行した)に加え、自らのバンド、ブラインド・メロンを結成した。そして彼らは、キャピトル・レコードとの契約を獲得し、今年夏頃にリリースが予定されているデビュー・アルバムの制作に取りかかったのだ。

もともと、W.アクセル・ローズと同じインディアナ州ラファイエット出身のシャノンは、バンドを結成するため、2年前にロサンゼルスへ移ってきた。ところが、ブラインド・メロンとしてレコード契約を結んだ後の昨年末、彼はバンドのメンバーとともに、ノース・カロライナ州の小さな町、ダラムに移り住んだのだ(この町は、南北戦争の有名な跡地で、研究都市“トライアングル・パーク”があることで知られている)。

彼らがダラムに移り住んでからすぐに行われたこのインタビューでは、バンドのこと、シャノン自身のこと、そして、シャノンとアクセルについて、など語ってもらった。

An Interview With

# SHANNON HOON BLIND MELON

All Photos by Ed Esposito

ガンズ・アンド・ローゼズの“ドント・クライ”で  
W.アクセル・ローズとデュエットした話題のあのシンガー  
ブラインド・メロンのシャノン・フーンに初インタビュー

# アクセルからは、音楽業界の“閉ざされた向こう側”にある秘密の部分を手学だ

インタビューと文●アン・レイトン by Anne Leighton

## ロサンゼルスを愛しすぎたんだ ちょっと刺激が強すぎたんだよ

——どうしてダラムに移り住んだの？

シャノン 今までロサンゼルスでベースにしていたんだけど、あの街は人の心を乱すんだ。だからダラムに移った。この街はあまり知られていないから、平和で、交通量も少ないし、ヘリコプターで追いかけてくる警官もいないし…、コオロギの鳴き声が聞こえてくるんだよ。それに、ここに住んでいる人達は本当に良い人達なんだ。彼らが「調子はどうだい？」って言う時は、本当にそう思っているんだよ。

——もともとあなたは、どこの出身？

シャノン インディアナ出身さ。2年前にロサンゼルスに移って、そこで今のバンドのメンバーに出会い、キャピトルと契約できたんだ。契約が決まった時、どこか他の町に移りたいと思ったんだけど、どこに行きたいのかわからなかった。とにかくどこでもいいから、ロサンゼルスを出たかったんだよ。別にロサンゼルスが嫌いじゃなくないけど、俺達がやるべきことを考えると、ロサンゼルスが持つ様々なものに、あまりにも心が捕えられてしまった。で、最後にバンドに加入したドラマーのグレン・グラハムが、ダラムに移る予定でいて、「ダラムは最高のところだぜ」って言うんで、彼を信じて、荷物をバックして引っ越し、到着したってわけさ。

——ロサンゼルスのどんな部分が人を乱すと思う？

シャノン たくさんあるね。でもまあ、リハーサルなんかをするのは簡単だったよ。「OK、じゃあ次のリハーサルで会おうぜ」って感じで…。それに俺達はみんな山が好きだし、ロサンゼルスでは放浪できるし、すべての雑踏やケンカは俺の関心を引いた。他のどこでも得られないようなナイト・ライフを楽しめたし…、つまり、俺はロサンゼルスを手を離すつもりじゃなくて、愛しすぎたってことなんだ。ちょっと刺激が強すぎたんだよ。特に俺はナイト・ライフが好きで、あちこちウロつき回って、いい友達が大勢できた。ロサンゼルスは本当に人が多いから、友達がたくさんいて、その友達のために時間を割いていたら、気がつくとも2日も経ってたりするんだ。ロサンゼルスでは簡単に時間の感覚を失ってしまうから、時計を持つ意味がないんだよ。

おかしいことなんだけど、俺がロサンゼルスを出た後、インディアナの友達から電話をもらったんだけど、ロサンゼルスで何が起ったのか、ヤツに説明することができないんだ。本当にいろいろあったから…。だから、今はちょっと寂しい気もするけど、俺、ニューヨークは好きだな。ニューヨークはコンパクトだし、エネルギーに満ち溢れているよ。あとは、シカゴもクールだね。

——じゃあ、あなたにとってロサンゼルスの良い部分は、どういう部分だったの？

シャノン 俺の好きだったことは、人を観察することなんだ。ロサンゼルスにはクレイジーなヤツから、まともなヤツまで、本当にいろんなヤツがいた。いろんなヤツを観察しながら、ハリウッド・ブルヴァードを歩くことができたんだ。外に出かけるたびに、誰かが俺の目を引く。すると俺は彼らを観察して、彼らが頭の中で考えていることなんかを探ろうとしちゃうんだ。人々や環境から、人生を学ばなければ。でも、あまりにホームレスを見かけるんで、背筋が寒くなったけど。

## ラファイエットでの俺は問題児で、家族の苦痛の種だったのさ

——今、ダラムではどんな風に生活してるの？

シャノン バンドのメンバー5人が、一緒に家に住んでいるんだ。ロサンゼルスではみんな別々に住んでたけど、引っ越ししたくなった時、同時に、みんなと一緒に住みたくなったんだよ。一緒に住むってことは、俺達を強く思うと思う。確信を持って、みんなが一つになれると思うよ。そうしてバンドって、今じゃかなり少ないだろう？ ステージで一緒にプレイして、ステージを降りても一緒にいる、なんてバンドは、ほとんどない。でも、例えばパール・ジャムの連中なんて、ステージでも、ステージを降りても友達なんだ。だいたい、プレイを聴けば、そのバンドのメンバーがど

ういう付き合いをしてるのかわかるもんなさ。だから俺達は、一緒に住んで、一緒にメシを食うってことは、ある種の連帯感を築くのいい方法だと思ってるんだよ。

——さっき、インディアナ出身だと言っていたけど、どこの町の出身？

シャノン ラファイエットさ。パーデュー大学のあったところ。

——その大学に通っていたの？

シャノン 実際は一学期間くらいだけど、演劇の授業に遊びこんでたんだ。でも、登録されてないことがバレちゃったんでやめさせられたよ。

——俳優になろうと思ったことがあるの？

シャノン 別に…。今のところ、ミュージシャンとしてうまくやってるから…。

——それじゃ、あなたが今までに演じた、最高の演技は何だった？

シャノン 多分、無実を主張したことかな。いろいろあってさ…、ラファイエットで警官を殴っちゃったんだ。初めはパーでケンカに巻き込まれて、誰かが俺を殴ったんだけど、そこに警官が止めて入って…。その時、誰かが俺を掴んだんで、振り向きざまに殴ったら、それが警官だったってわけさ。彼を殴るつもりなんてなかったけど、結果的に俺は殴っちゃって、トラブルに巻きこまれた。その後、法律との長い道のり…。俺に運がなくて、まずい時、まずい場所にいたってことだよ。

——では、ラファイエットからロサンゼルスに出てきた時の話を聞かせてくれる？

シャノン ロサンゼルスに着いた時は、本当に悲しい気持ちになった。例えば、ハイスクールを卒業するとか、人生のステージを通りすぎる時とかに、「ちくしょう、ついにここから出ていくのか」って感じるだろう？ 自分の人生の一部を置き去りにしたうえで成長していくって、なんか悲しくなるよね？ ロサンゼルスに着いた時の俺は、まさにそんな感じだったんだ。

もともと、ラファイエットでの俺は問題児で、思うようにいかず、よく問題を起こした。俺の行動——ドラッグをやったり、トラブルに巻きこまれたり——は、家族の苦痛の種だったんだ。その頃の俺は、建設的なことは何も見つけられず、破壊的なことばかりに目がいった。そんなある日、もう自分を変えて、卒業すべきだと思ったんだ。それで、ロサンゼルスに目を向けたんだよ。でも、トラブル・メイカーだった息子が「ハリウッドに行きたい」なんて言い出すもんだから、母親なんて死にそうな顔で「まあ、なんてことを。絶対に許しません！」だって。きっと、流れ者が何かにでもなってしまうと思ったんだろうね。だから俺は逃げ出してきて、で、ロサンゼルスで初めて一人暮らしして、様々なライフ・スタイルを知り、



# SHANNON HOON BLIND MELON



目覚めたってわけさ。

もし俺がロサンゼルスみたいな場所で育ったなら、そういう場所を当然だと思ったんだろうけど、俺はブッ飛んじまった！ だからロサンゼルスではとても成長したよ。大学で4〜5年間学ぶ以上のものを、ロサンゼルスの2年間で学んだんだ。

## スポーツで奨学金をもらって 大学に行きたいと思ったけど…

—家族に対して、親近感を持てる面はある？

シャノン 全くないね。俺の家族を一つの集団として見ると、俺が好意を持てる人間は明らかに一人もいない。俺の両親は俺が16か17歳の頃離婚したから、クリスマスの時期には、別々に4回ものクリスマス・ディナーをとらなきゃいけないんだ。それも、お互いの悪口つきでね。だから毎年この時期になると、俺はヘンな気分になっちゃう。理解したくないし、理解できないことだから、精神的に耳をふさいでしまうんだ。

俺の両親は元ヒッピーで、オヤジはバイクを乗り回したり、整備するのが好きで、オフクロは可

愛い子供がそのままオトナになったって感じなんだ。とにかく俺は、やりたいことがやれる環境にはいなかったよ。ラファイエットではとても抑えられていたから、法律を犯さずには自分の好きなことなんてできなかったね。

—子供の頃から、ロック・ミュージシャンになりたいと思っていたの？

シャノン 俺の育ってきた環境の中では、常に音楽は俺の生活の一部だった。オフクロが音楽雑誌を買っていて、それに歌詞が載っていたから、いつもバスルームで歌っていたよ。バスルームだとよく聴こえたから、歌うためにはベストな場所だったね。

そんな風に、常に音楽には愛着があったけど、音楽が最優先じゃなかったよ。というのも、俺はスポーツに夢中で、ハイスクールを通してずっとアメリカン・フットボールをしていたし、棒高飛びや、レスリングもやっていたんだ。で、スポーツで奨学金をもらって、地元のみんなと同じようにバーデュー大学に行きたいと思ったんだけど、学業のほうの成績が充分じゃないことに気づいたん

だよ。この現実には打ちのめされたよ。俺の人生は行きづまり、古い工場での仕事に就き、あとの楽しみは結婚して子供を持つだけ、という、型にはまった暮らしになったんだ。それまでの俺には、やりたいことが山のようにあったのにね。

そんな生活の中で俺を楽しませてくれたのは、歌を歌ったり、曲を作ったりすることだけだった。その後、俺は地元のヤツらとバンドを始めたんだけど、そこで自分のやりたいことがハッキリして、このバンドではダメだとわかったわけさ。それからロサンゼルスに出て、今のバンドのメンバーと出会ったんだ。不思議なことに俺達が集まった時、“よし、これがバンドだ” っていう思いが、みんなに共通していたよ。

## 俺達には優秀なマネージャーと レコード会社と、弁護士がいる

—ところで、あなたはGN'Rのアルバムに参加しているけど、彼らからどんなことを学んだ？

シャノン 彼らというより、アクセルからだね。というのもアクセルと俺とは、もう長い付き合いの友達なんだ。で、俺は、もし彼から学んだのであれば、きつとかなり苦勞して学ばなければならないような、価値のあることを学んだんだ。それは、この音楽業界で人々がどういう風にだまされ、それを避けるためにはどうしたらいいか、ってことだよ。それは、音楽業界の“閉ざされた向こう側”にある秘密の部分だから、普通これを知るには、かなり高くつくもんだけどね。

それから、自分の弁護士が目を通すまでは、誰とも、何にもサインするな、ってことも学んだね。もしそれが守れたなら、何に遭遇しても大丈夫さ。俺達には恐ろしいほどに優れた弁護士がいて、面倒をみてくれるんだから。俺は弁護士じゃないから、何が合法で、何がそうじゃないかわからないけど、彼がいることで、とても安心できるんだ。それに俺達には、素晴らしいマネージャー（GN'Rと同じ『ビッグFD』マネージメントに所属）もついているし…、つまり、優秀な弁護士と、マネージャーと、レコード会社がついてるってわけさ。

—それじゃ、最後に聞きたいんだけど、どうしてブラインド・メロンっていうバンド名にしたの？とてもブルージーな感じだけど。

シャノン ブラインド・メロン・ジェファークソンっていう古いブルース・プレイヤーがいたんで、ブラインド・メロンっていうバンド名を思いついたんだ。彼はミシシッピのウエスト・ポイントという場所に住んでいた人で、そこは俺達のバンドのメンバーの中の3人、ロジャース・スティーヴンスと、グレン・グラハムと、ブラッド・スミスが育った街でもあるんだけど、訪れてみたら、とてもいい感じだったよ。俺達はそんな風にお互いが生まれ育った場所を訪れるようにしてるんだ。そうすれば、バンドとしての結びつきが強くなり、より親密になれるからね。

# AN INTERVIEW WITH SHANNON HOON - BLIND MELON

Written by Anne Leighton

All Photos by Ed Esposito

## The first interview with Blind Melon's Shannon Hoon; the singer in the spotlight for his duet with W. Axl Rose on Guns N' Roses' "Don't Cry"

There are plenty of songs filled with anger on the newest Guns N' Roses (GN'R) albums, "Use Your Illusion I/II." That's because, beginning with the band members, the people involved with recording the album feel angry. However, Shannon Hoon, who worked on the albums as both singer / songwriter, does not feel that much anger in oft-heard songs like "Don't Cry." That's because this 24 year-old musician is in a very creative state right now, and he doesn't have time to cloud his vision with anger.

Shannon Hoon is truly a man with a vision. He sang together with GnR, took part in their tour (participating in the Secret Gig tour that was done just before the U.S. national tour last year) and formed his own band, Blind Melon. Then, after winning a contract with Capitol Records, they began working on recording the band's debut album, which is set to release this summer.

Originally from W. Axl Rose's hometown of Lafayette, Indiana, Shannon came out to Los Angeles two years ago to form a band. But, after signing the recording contract as Blind Melon at the end of last year, Shannon and his fellow band members moved out to the small North Carolina town of Durham (known for civil war sites and its research facilities, "Triangle Park").

In this interview, (which was conducted soon after the band's move to Durham) Shannon talks about his band, himself and his relationship with Axl, among other things.

**Shannon:** I love it (Los Angeles) too much. It was a little too stimulating...

### Why did you move to Durham?

**Shannon:** We were based in Los Angeles, but that town corrupts people's hearts.

That's why we moved to Durham. This town is not well-known, it's peaceful, there's not much traffic and there aren't any cops that chase you in helicopters... You can hear crickets chirping. Also, the people living here are all really nice people. When they ask you, "how are you doing?" they really mean it.

### Where are you originally from?

**Shannon:** Indiana. I moved out to Los Angeles two years ago. That's where I met the rest of the band and where we signed with Capitol. We felt like we wanted to move someplace else when we got our contract, but we didn't know where. We just wanted to go anywhere

to get out of Los Angeles. It's not that we hate Los Angeles, but considering the things we wanted to do, Los Angeles has so many temptations. Also, Glen Graham, our drummer who was the last one to join the band was all set to move out to Durham and he said "Durham is a great place!" so we listened to him, packed our bags and moved out here.

### What do you think it is about Los Angeles that corrupts people?

**Shannon:** There are lots of things. But, rehearsals were easy. It was always like, "OK, see you at the next rehearsal..." Also, we all love mountains. I could wander around Los Angeles and every crowd or fight would just grab my attention. We were able to enjoy a night life like doesn't exist anywhere else...I mean I'm not trying to put down Los Angeles, it's just that I love it too much. It was a little too stimulating for me. I really love the night life and I would just roam around everywhere. I made a lot of really good friends. There

are a lot of really good people in Los Angeles, so I had a lot of friends who I used to spend a lot of time with. Sometimes I'd realize we had been together for like two days. It's easy to lose track of time in Los Angeles, so there's really no reason to wear a watch.

It's funny, but I got a call from a friend in Indiana after leaving Los Angeles, and I couldn't explain to him what had been going on in LA. Too much had happened... So now, I kind of miss it. I like New York. It's compact and overflowing with energy. Also, Chicago is cool, too.

### **Well, what about Los Angeles was good for you?**

**Shannon:** The thing I liked was watching people. From crazy guys to sane ones, there are all kinds of people in Los Angeles. I was able to walk down Hollywood Boulevard while watching all kinds of people. Every time I went out, somebody would get my attention. Then I'd start watching them and try and figure out what was going on in their heads. You learn a lot from people and the environment. But I would see so many homeless that it sent shivers down my spine.

### **What is your life in Durham like?**

**Shannon:** All five band members live together in the same house. In Los Angeles, we all lived separately. But when we decided we wanted to move, we also decided we wanted to live together. I think living together makes us stronger. I'm certain that it unifies us. I don't think there are many bands that do that anymore. We play together on stage and when we get off the stage, we're still together. Hardly any bands do that. But, for example, the guys in Pearl Jam are friends both on-stage and off. If you hear a band play, you can pretty much tell how well they get along.

That's why I think us living together and eating together is a good method for us to build a type of solidarity.

### **You just said you were from Indiana. What town?**

**Shannon:** Lafayette. That's where Purdue University is.

### **Did you go to school there?**

**Shannon:** I actually went there for one semester; I snuck into a theater class. But, they found out I wasn't enrolled and made me quit.

### **Do you ever feel like you would like to be an actor?**

**Shannon:** Not really... Things are going great for me as a musician right now...

### **All right. Of all the parts you've played, what has been your greatest acting performance up to now?**

**Shannon:** Probably playing innocent. A lot of stuff happened... I punched a cop in Lafayette. It started off when I got caught up in a fight in a bar and somebody punched me. A cop stepped in to break it up... I threw a punch over my shoulder and it landed where the cop was standing. I didn't mean to hit him, but that's what ended up happening and I got into trouble. Then there was a long legal process... I was unlucky; in the wrong place at the wrong time.

### **Okay, can you tell me about the time you came from Lafayette to Los Angeles?**

**Shannon:** I was sad when I arrived in Los Angeles. It was like when you pass certain stages of life, like graduating from high school and you're like, "am I finally getting the Hell out of here?" You know? It's like you're leaving a part of your life behind and growing up and that makes me a little sad somehow. That's exactly how I felt when I arrived in Los Angeles.

If I had grown up in a place like Los Angeles, I would have taken it for granted, but I freaked! That's why I grew so much in Los Angeles. I learned more living two years in Los Angeles than I would have in four or five years of university.

I had hoped for a sports scholarship to go to college... but...

### **Did you dream of becoming a rock musician as a child?**

**Shannon:** Music was always a part of my life where I grew up. My mom bought music magazines that had song lyrics printed in them and I was always singing in the bathroom. I sounded good in the bathroom, so it was the best spot for singing.

So I always had a passion for music, but it wasn't my priority. I mean, I was in love with sports and played football all through high school. I also did pole vaulting and wrestling. Just like everybody else, I had hoped for a sports scholarship to go to college at Purdue, but I realized my grades weren't good enough.

This realization devastated me. My life had hit a dead end. All I had to look forward to was a cookie cutter life where I would get a job in some old factory, get married and have kids. Up to the point, I had a ton of things I wanted to do.

The only things that brought me pleasure then were singing and writing songs. Later, I formed a band with some local guys and that led me to what I wanted to do but showed me that the band I was with wasn't going to work out. Then I went to Los Angeles and met the guys I'm with now. It was strange, but as soon as we got together, we all felt like, "OK, this is a band."

We have an excellent manager, lawyer and record company.

**By the way, you're on the new GnR album, so what have you learned from them?**

**Shannon:** It's not so much what I've learned from them as what I've learned from Axl. I mean, we're both friends from way back. And, what I learned from him, which was a really valuable lesson, would probably have been really difficult to learn if I hadn't learned it from him. I learned how people are deceived in the music business and what to do to avoid that. That's the secret on the "other side" of the music business and it usually takes a lot to learn this.

I also learned not to sign anything from anyone until my lawyer takes a look at it. As long as you follow this rule, you'll be okay no matter what happens. Our lawyer is so good it's scary, and he really takes care of us. I'm not a lawyer, so I have no idea about what is legal and what isn't, but thanks to our lawyer, I can really relax. On top of that, we have a wonderful manager (Managed by "Big FD," who also manage Guns N' Roses)... In other words, we have an excellent manager, lawyer and record company.

**All right, I want to ask you one last question. Why did you go with Blind Melon for your band's name?**

**Shannon:** We came up with our name from the name of an old blues player, Blind Lemon Jefferson. He lived in West Point, Mississippi, which is also where three of our band members, Roger Stevens, Glen Graham and Brad Smith all grew up. We went to visit and it was great. We all try to visit each other's home towns. By doing so, our ties as a band are strengthened and we become closer. ■ ■